

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年1月29日

上場会社名	養命酒製造株式会社	上場取引所	東名
コード番号	2540	URL	https://www.yomeishu.co.jp/
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 塩澤 太郎	
問合せ先責任者	(役職名) 上席執行役員 コーポレート本部長	(氏名) 井川 明	(TEL) 03-3462-8138
四半期報告書提出予定日	2020年1月31日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	7,784	△3.2	360	△4.1	676	0.6	620	28.8
2019年3月期第3四半期	8,044	△2.7	375	27.4	672	15.2	481	8.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	45.13	—
2019年3月期第3四半期	35.06	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	46,902	40,821	87.0
2019年3月期	46,347	40,622	87.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 40,821百万円 2019年3月期 40,622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,120	5.7	600	7.5	920	4.9	720	4.8	52.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	16,500,000株	2019年3月期	16,500,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,750,766株	2019年3月期	2,764,540株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	13,744,613株	2019年3月期3Q	13,732,907株

(注) 当社は「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付表示の変更について)

「2020年3月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)におけるわが国経済は、雇用情勢が改善する中、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、消費増税や相次ぐ自然災害の影響、海外経済の不確実性等、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連業界におきましても、節約志向、業種業態を越えた企業間競争の激化が続き、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、中期経営計画(2018年4月～2021年3月)において、「ポジティブエイジングケアカンパニーとして、健やかに、美しく、歳を重ねることに貢献する」という事業ビジョンに基づき、「持続的成長に向けた事業基盤の構築」を基本方針として「選択と集中」「スピードと効率」「コスト管理の徹底」「経営基盤の強化」の基本戦略を推進し、「養命酒の売上回復」と「酒類食品分野の伸長カテゴリーへの注力」により事業の拡大と収益性の向上に取り組んでおります。

当第3四半期累計期間の業績は、売上高は7,784百万円(前年同四半期比3.2%減)、営業利益は360百万円(前年同四半期比4.1%減)、経常利益は676百万円(前年同四半期比0.6%増)、四半期純利益は社有地売却に伴う固定資産売却益207百万円を特別利益に計上し、620百万円(前年同四半期比28.8%増)となりました。

セグメント別には以下のとおりです。

① 養命酒関連事業

養命酒関連事業の売上高は7,515百万円(前年同四半期比3.3%減)となりました。

<養命酒>

国内における「養命酒」につきましては、ドラッグストア等主要販売チャネルである小売店での店頭陳列の強化や購入促進施策等の販売促進活動に取り組むとともに、新たな販売チャネルとして開拓している保険薬局取扱店舗数の拡大に努めました。10月以降は血行促進による冷えや疲れの改善をテーマにしたウェブを中心とするコンテンツマーケティングやテレビスポット広告等を実施したものの、消費増税の影響を受け、売上高は、5,651百万円(前年同四半期比2.6%減)となりました。

海外における「養命酒」につきましては、商品理解の促進と購買意欲の向上を目指し、主要輸出先(台湾・香港・マレーシア・シンガポール)の市場環境に合わせた販売促進活動を実施したものの、香港における政情不安の影響を受け、売上高は、238百万円(前年同四半期比14.6%減)となりました。

以上の結果、「養命酒」全体の売上高は5,890百万円(前年同四半期比3.1%減)となりました。

<その他商品・サービス>

「ヘルスケア」につきましては、「養命酒製造の黒酢」と「養命酒製造のど飴」の保険薬局取扱店舗数の拡大に取り組みました。「ヘルスケア」の売上高は、109百万円(前年同四半期比22.4%増)となりました。

「酒類」につきましては、引き続き「クラフトジン」の新規採用や定番化に向けた営業活動に注力した一方、「フルーツとハーブのお酒」の売上が減少しました。「酒類」の売上高は、504百万円(前年同四半期比12.3%減)となりました。

「食品」につきましては、「グミ×サプリ」、「養命酒製造のど飴」、「黒豆黒酢」、「養命酒製造 甘酒」の取扱店舗数の拡大に注力しました。「食品」の売上高は、509百万円(前年同四半期比2.4%増)となりました。

「リテール」につきましては、「くらすわ」及び「養命酒健康の森」のショップが夏場の天候不順や台風、観光客数の減少等の影響を受けました。「リテール」の売上高は、501百万円(前年同四半期比5.3%減)となりました。

以上の結果、「その他商品・サービス」全体の売上高は1,625百万円(前年同四半期比3.9%減)となりました。

② その他

不動産賃貸と鶴ヶ島太陽光発電所の売上を合算し、売上高は269百万円(前年同四半期比0.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ555百万円増加し、46,902百万円となりました。これは主に売掛金が224百万円、有形固定資産が119百万円、投資有価証券及び関係会社株式に含まれる保有株式が時価評価等により162百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ356百万円増加し、6,081百万円となりました。これは主に流動負債のその他に含まれる未払費用が265百万円、未払消費税等が114百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ199百万円増加し、40,821百万円となりました。これは主に四半期純利益620百万円の計上及び配当金552百万円の支払いにより利益剰余金が67百万円、その他有価証券評価差額金が99百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,119,075	5,077,072
売掛金	2,505,271	2,729,970
有価証券	1,500,038	1,500,035
商品及び製品	474,652	387,798
仕掛品	113,544	133,860
原材料及び貯蔵品	979,911	970,835
その他	142,278	180,478
流動資産合計	12,834,772	10,980,051
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,952,254	3,881,119
その他(純額)	3,824,905	4,015,645
有形固定資産合計	7,777,159	7,896,765
無形固定資産		
	257,799	210,014
投資その他の資産		
投資有価証券	17,187,511	18,499,242
長期預金	4,400,000	6,100,000
その他	3,898,287	3,224,676
貸倒引当金	△8,340	△8,340
投資その他の資産合計	25,477,458	27,815,579
固定資産合計	33,512,417	35,922,358
資産合計	46,347,190	46,902,409
負債の部		
流動負債		
買掛金	262,334	280,535
未払法人税等	120,998	83,879
賞与引当金	200,647	96,608
その他	970,198	1,363,193
流動負債合計	1,554,177	1,824,215
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	48,350
その他	4,122,371	4,208,456
固定負債合計	4,170,721	4,256,806
負債合計	5,724,899	6,081,021

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	720,938	720,938
利益剰余金	37,616,470	37,684,376
自己株式	△4,990,539	△4,959,124
株主資本合計	34,996,870	35,096,191
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,625,420	5,725,196
評価・換算差額等合計	5,625,420	5,725,196
純資産合計	40,622,290	40,821,387
負債純資産合計	46,347,190	46,902,409

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	8,044,595	7,784,759
売上原価	2,852,552	2,762,264
売上総利益	5,192,042	5,022,494
販売費及び一般管理費	4,816,470	4,662,297
営業利益	375,572	360,197
営業外収益		
受取利息	28,778	29,460
受取配当金	258,969	281,800
その他	19,652	15,888
営業外収益合計	307,400	327,149
営業外費用		
支払利息	10,286	10,737
その他	330	277
営業外費用合計	10,617	11,015
経常利益	672,355	676,330
特別利益		
固定資産売却益	—	207,437
特別利益合計	—	207,437
特別損失		
固定資産除却損	3,509	9,171
特別損失合計	3,509	9,171
税引前四半期純利益	668,846	874,596
法人税、住民税及び事業税	167,000	242,000
法人税等調整額	20,419	12,332
法人税等合計	187,419	254,332
四半期純利益	481,426	620,263

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。